

平成 19 年 8 月 2 日
大阪ウォーターフロント開発(株)広報課
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当：松原、清水、西村、齋部、松森)

海遊館で涼体感！ 北の冷たい海に生息する「クリオネ」を特別展示 “流水の天使”が残暑お見舞い！

大阪市港区の海遊館では、平成 19 年 8 月 4 日(土)から 9 月 24 日(月・休)までの期間、海遊館 6 階特設水槽にて、“流水の天使”と呼ばれる不思議な生き物「クリオネ」約 20 匹を特別展示します。今回の特別展示は、暑い夏を少しでも涼しく感じていただこうと、北の冷たい海に生息する「クリオネ」を展示することにしました。

「流水の天使 クリオネ」は株式会社網走観光振興公社の登録商標です。海遊館での「クリオネ」展示に関しての「流水の天使 クリオネ」の使用については、同社の子承を得ています。

「クリオネ」は、和名で「ハダカカメガイ」という、体長が約 2～3cm の貝殻をもたない巻貝の仲間です。北海道に春の訪れを告げる流水とともに現れ、流水とともに姿を消すといわれている不思議な生き物で、羽ばたくようにゆっくりと優雅に泳ぐ姿から“流水の天使”とも呼ばれています。海遊館では、来館されたお客様に暑い夏を少しでも涼しく感じていただこうと、北の冷たい海に生息する「クリオネ」を展示することにしました。「クリオネ」の展示は平成 7 年以来毎年実施していますが、夏期に展示するのは今回が 2 回目となります。



流水の天使「クリオネ」

また、展示水槽の隣りでは、「クリオネ」の餌である「ミジンウキマイマイ」という貝を捕食するシーンの映像を放映します。これは海遊館で撮影に成功した貴重な映像で、可憐なイメージを持たれがちな「クリオネ」の本来の生態を紹介しようとするものです。

この他にも、8 月 11 日(土)から 15 日(水)の 5 日間には、「真夏になんと雪が降る」と題して、海遊館前イベント広場に人工雪を降らせるイベントも開催します(平成 19 年 7 月 19 日資料提供済)。海遊館では、暑い夏に涼を感じていただけるイベントで、お客様をお迎えます。

1.【「クリオネ」特別展示について】

- 日 時 平成 19 年 8 月 4 日（土）～9 月 24 日（月・休）
- ・ 8/4～8/10、8/16～8/31 9：30～20：00
 - ・ 8/11～8/15 8：30～20：30
 - ・ 9/1～9/24 10：00～20：00
- いずれも最終入館は閉館時刻の 1 時間前まで
- 場 所 海遊館 6 階特設水槽（「パナマ湾」水槽中層前）
- 料 金 無料（海遊館入館料に含む）
- 内 容 飼育水温が常に 5 前後になるように、四方がガラスの冷蔵庫の中に小型水槽を 2 基設置して、その中に「クリオネ」約 20 匹を展示します。お客様には一辺約 30cm の覗き窓から「クリオネ」をご覧いただきます。また、大きく写る姿も観察いただけるよう拡大鏡も設置します。クリオネの水槽の隣にはモニター 1 基を設置し、「クリオネ」の餌である「ミジンウキマイマイ」という貝を捕食するシーンの映像を放映します。
- * 生物の状況により、展示数が変更になる場合があります。

2.【「クリオネ」について】

和名 ハダカカメガイ 英名 Clione 学名 *Clione limacina limacine*

ハダカカメガイ科。体長 2～3cm。貝殻を持たない巻貝の仲間。体全体がやや透明で中央の赤い部分は消化器官などである。泳ぐ姿が優雅なため“流水の天使”と呼ばれている。翼のような器官（学術上は翼足^{よくそく}という）を羽ばたかせるように使い、ゆっくりと泳ぐ。流水が接岸すると知床半島周辺で観察され、暖かくなり流水が北上するとともに姿を消すといわれる不思議な生き物である。

（参考）【真夏になんと雪が降る】（平成 19 年 7 月 19 日資料提供済）

- 開催日 8 月 11 日（土）～15 日（水）
- 時 間 11:30～、14:00～（1 日 2 回）
（各約 10 分間） 雨天中止
- 場 所 イベント広場
- 料 金 無料
- 内 容 降雪機で、海遊館前のイベント広場に人工雪を降らせ、真夏の雪を楽しんでいただくものです。暑い夏に天保山ハーバービレッジで、一時の涼をお楽しみいただきます。



昨年の「真夏になんと雪が降る」の様子